

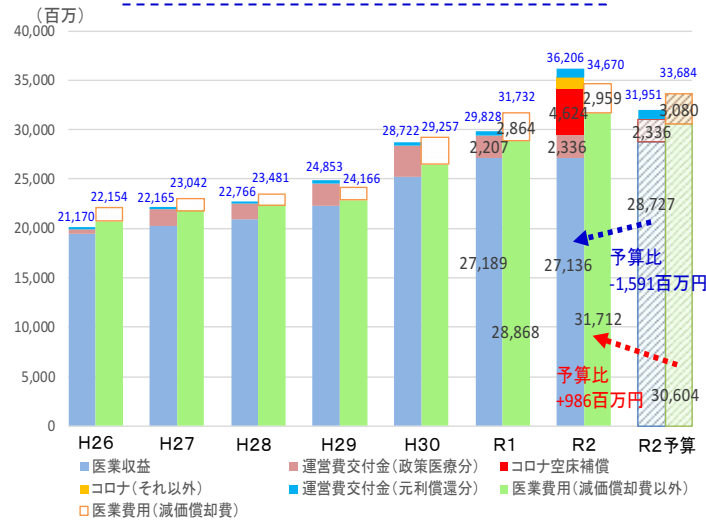
令和2年度 奈良県立病院機構 決算の概要

【**医業収益・費用**】 ○医業収益は、新型コロナによる受診控え等の影響により、**機構全体で令和元年度よりも54百万円減少し、予算に対して1,591百万円減少**した。

○医業費用は、新型コロナによる給与・材料費の増加等により、**機構全体で令和元年度よりも2,939百万円増加し、予算に対して986百万円増加**した。

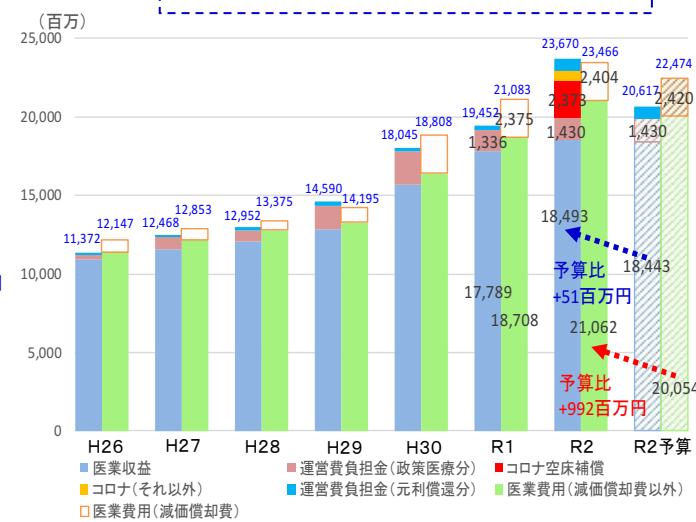
【機構全体】

医業収益(R1比) : 54百万円減
医業費用(R1比) : 2,939百万円増



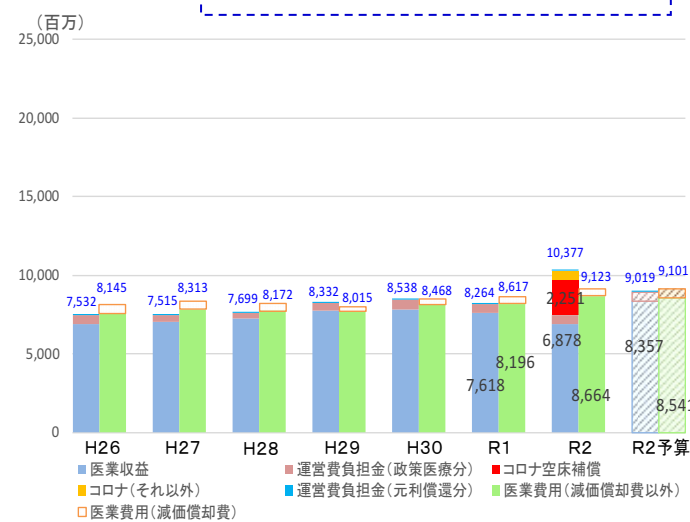
【総合医療センター】

医業収益(R1比) : 704百万円増
医業費用(R1比) : 2,383百万円増



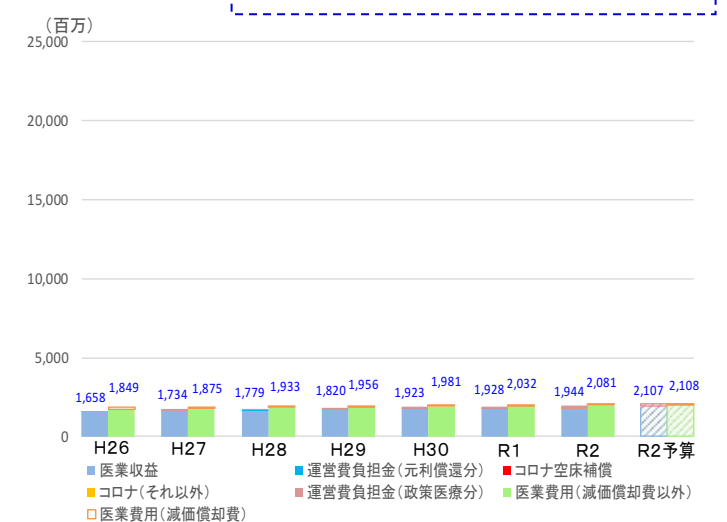
【西和医療センター】

医業収益(R1比) : 740百万円減
医業費用(R1比) : 506百万円増



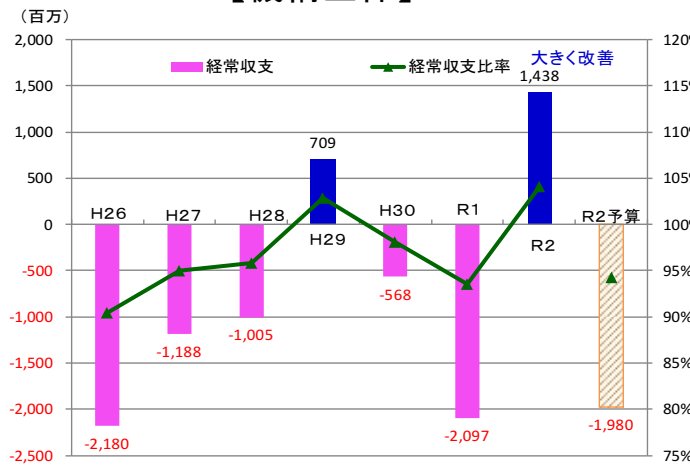
【総合リハビリテーションセンター】

医業収益(R1比) : 18百万円減
医業費用(R1比) : 49百万円増

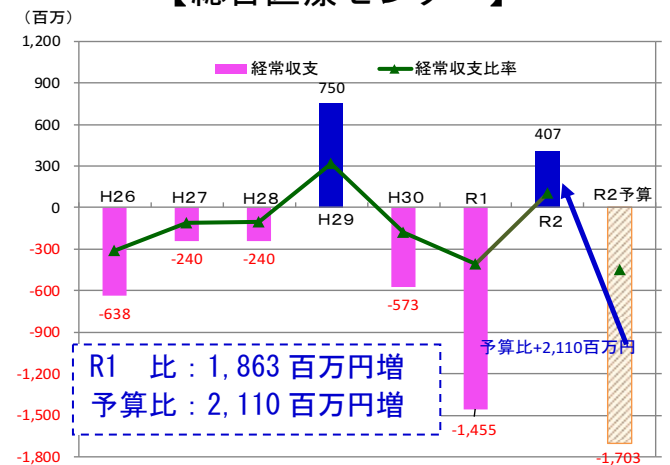


【**経常損益**】 ○感染症による影響を受けながら、在院日数の短縮や優先すべき手術の調整、化学療法の実施等による収益確保に加え、コロナ関連補助金の収益を得た結果、**経常利益は令和元年度よりも3,535百万円増加し+1,438百万円**となった。予算に対しては+3,418百万円と**大きく改善**した。

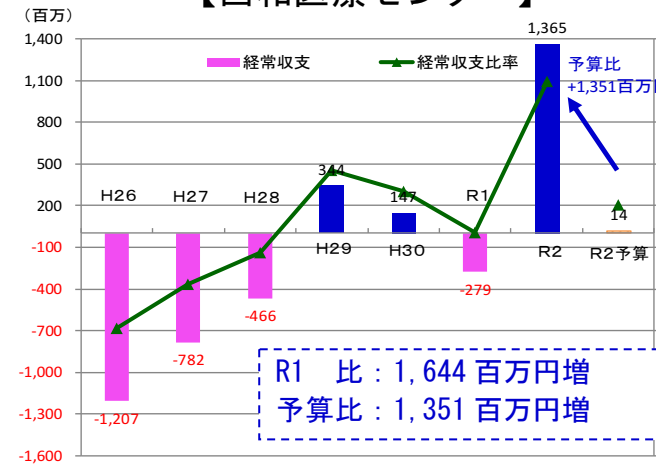
【機構全体】



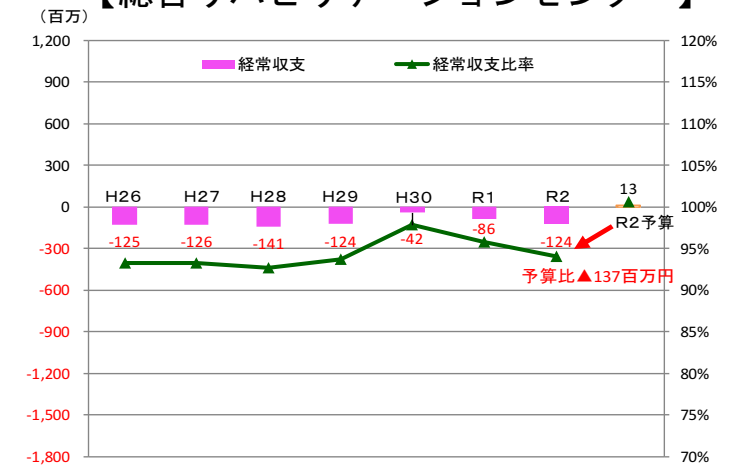
【総合医療センター】



【西和医療センター】



【総合リハビリテーションセンター】



【収益・費用について】

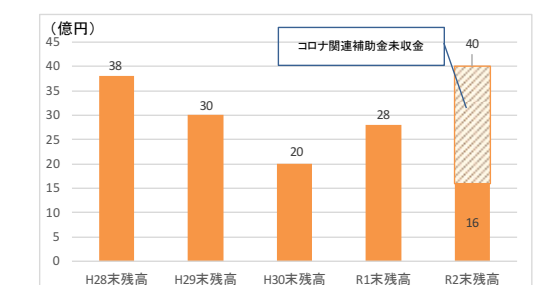
○医業収益は令和元年度より54百万円（予算比▲1,591百万円）減に留まる。医業費用は令和元年度より2,939百万円（予算比+986百万円）増加。

○医業収益に運営費交付金、コロナ関連補助金を合計した額は、医業費用に減価償却費を加えた額を上回り、**経常利益は1,438百万円**となる。

【キャッシュ・フロー】

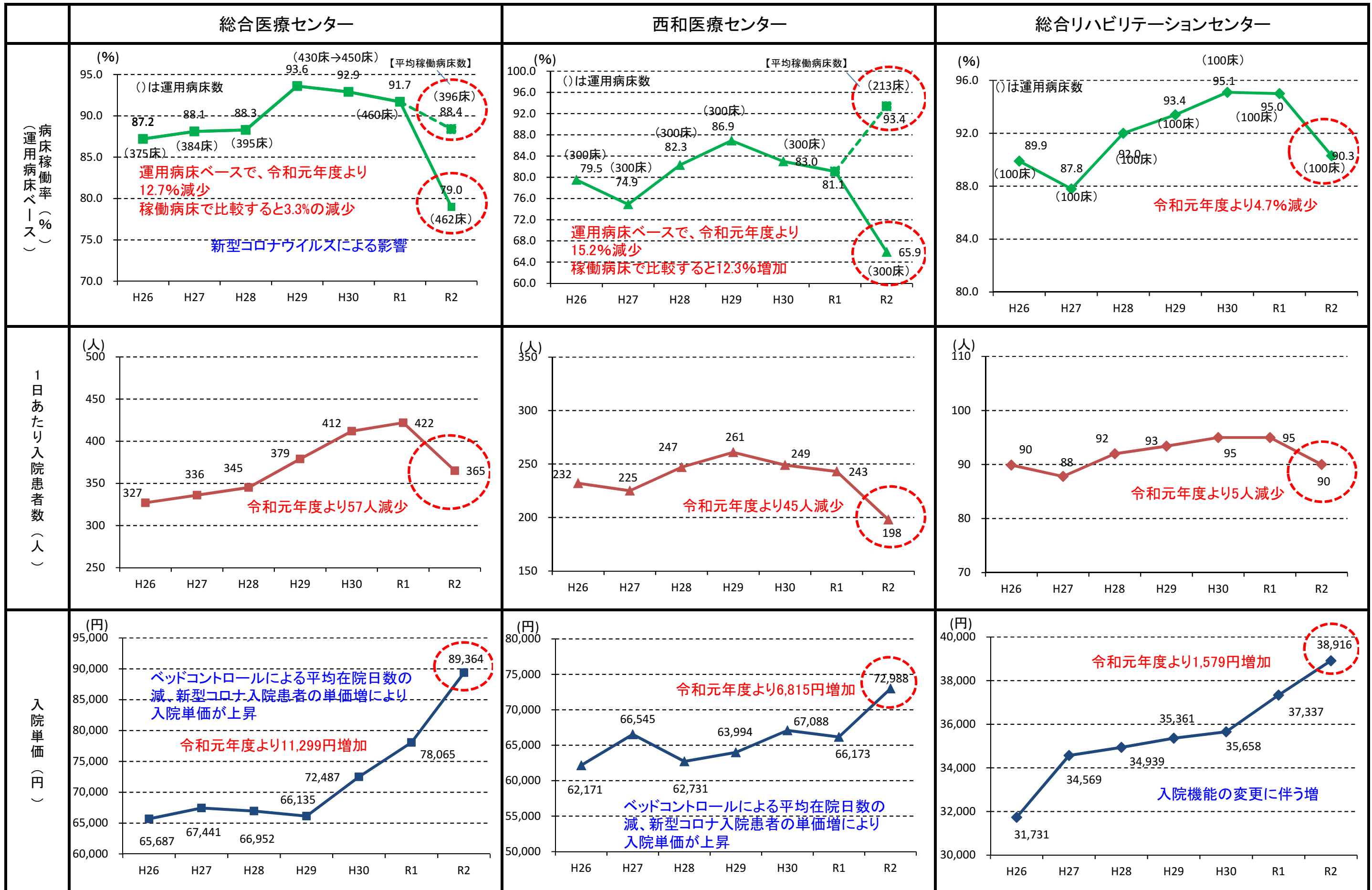
短期借入金の残高は40億円となっているが、コロナ関連補助金未収金が約24億円発生したため、**実質は約16億円**となっている。

短期借入金の残高



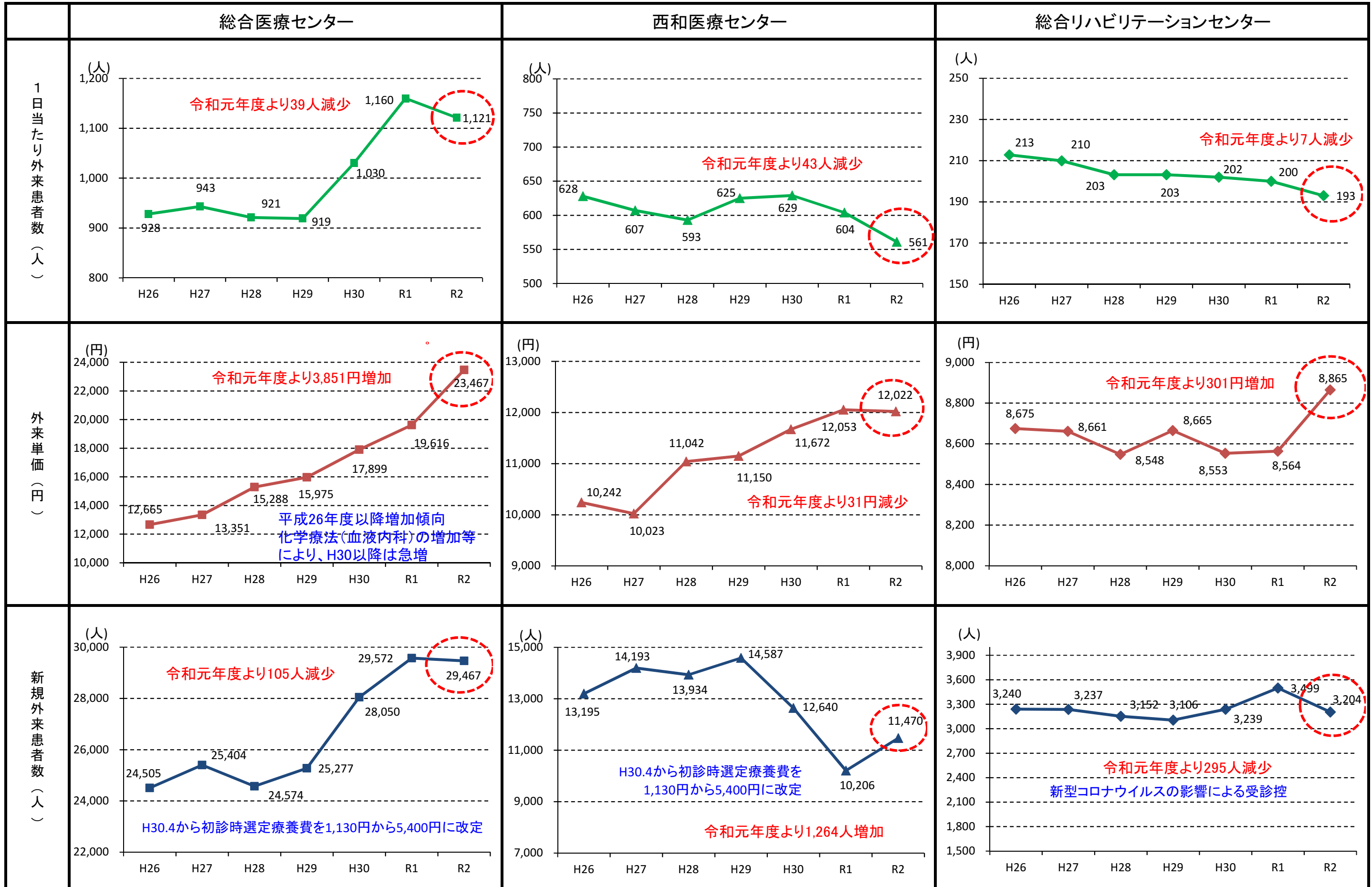
入院

各病院における診療指標の推移①(入院関係指標)



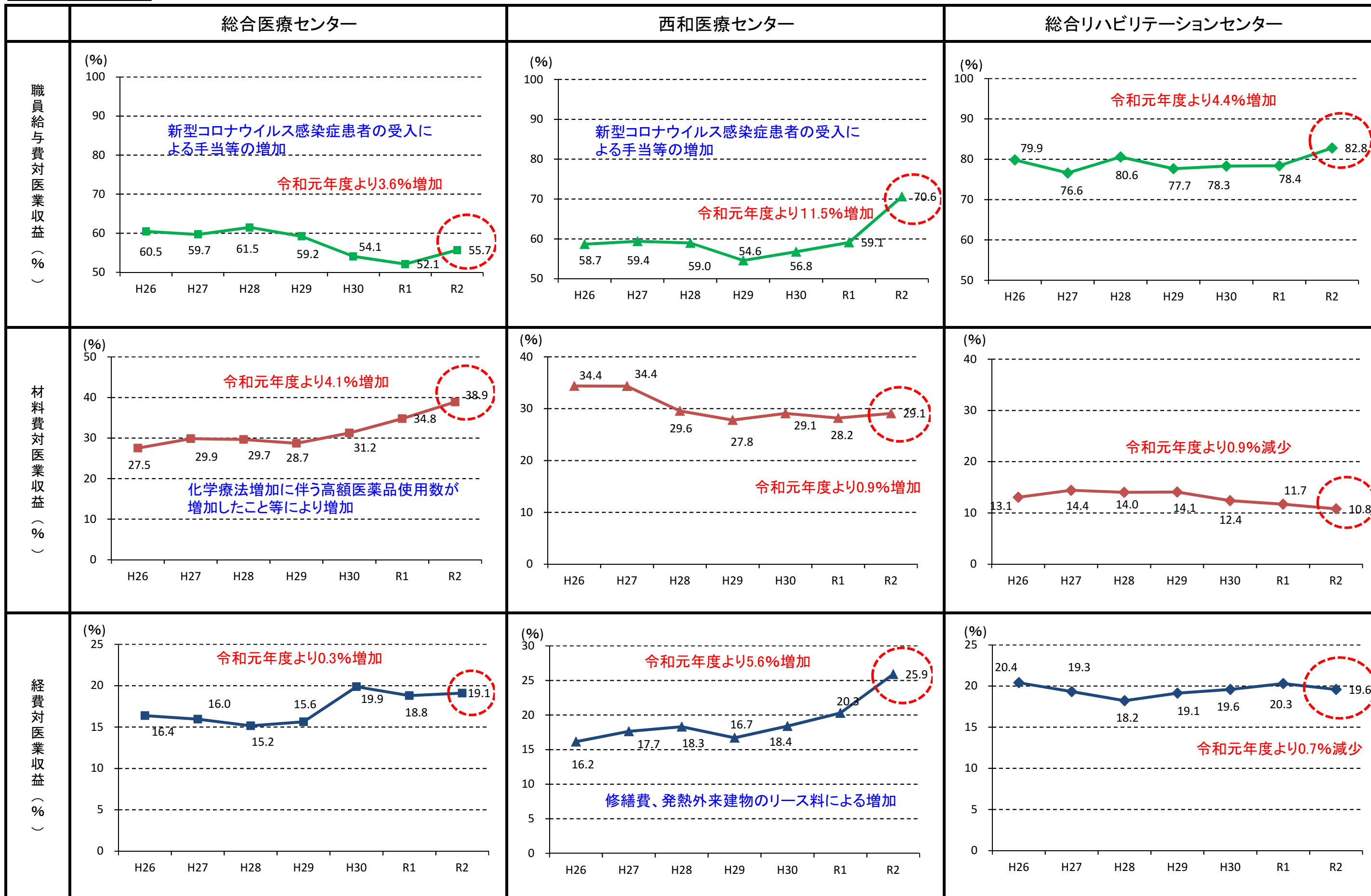
外来

各病院における診療指標の推移②(外来関係指標)



費用

各病院における診療指標の推移③(費用関係指標)



その他

各病院における診療指標の推移④(その他指標)

